

広島市における歩行者・自転車アンケート調査の集計結果

広島市 都市計画課長 正会員 横山良三

係長 正会員 河合 武

技師 正会員 信藤和久

1. はじめに

広島市において、歩行者・自転車道の整備基本計画を策定する作業の第1段階として、アンケート調査を行った。本稿は、その結果の概要を報告するものである。

2. アンケート調査結果の概要と考察

(1) 歩行に関して――広島市（特に都心部）では、ゆったりと、楽しみながら歩ける空間が無いのでは、との想定による質問を主体に構成した。

“ひとりで歩いていること”

(結果概要)

車が多く危険 64.0%	騒音がうるさい 12.5%	道が狭い 36.3%	道が曲がりくねっている 30.3%	段差が多い 29.1%		
-----------------	------------------	---------------	----------------------	----------------	--	--

(M A TOTAL 226%)

・車に対する危険感は約6割の人が抱いており、その他の騒音・排気ガス、道幅が狭い、歩道が無いなどの理由は、12~36%の回答があり、原因が重複している。

“歩行者天国をどのように考えるか”

もっと楽しいものに 41.5%	今のままで良い 39.2%	その他	
--------------------	------------------	-----	--

・歩行者天国を知っている人は、86.6%であり、これについて41.5%の人が「もっと楽しく」と答えている。年代別で見ると、10代では51%、20代では43%が「もっと楽しいものに」と答えているが、30代以上は、「今のままで良い」が最多数となっている。

また性別では、男性の方が多く「楽しくする」と答えている。

“歩行者道の希望”

安心して歩ける道路 64.2%	信号のない歩道 20.0%	歩道幅が狭い 17.0%	子供が走り回る場所が少なく 8.5%	子供が走り回る場所が少なく 29.5%	
--------------------	------------------	-----------------	-----------------------	------------------------	--

(M A TOTAL 160%)

・交通施設としての歩行者道の希望が最も多いことは当然として、子供に解放された道が次に多く出た事は、身近な遊び場が不足している表われであろう。これらの回答について地区の差は、顕著には見られなかった。

“本通り(ショッピング道-自転車通行可)の自転車通行について”

自転車通行全面禁止 27.6%	自転車をおいて歩くよう規制 56.8%	規制をしない 9.1%		
--------------------	------------------------	----------------	--	--

・本通り(車両通行を時間規制しているショッピング道路)の自転車乗り入れに対し、「危険と思う」人が79%で、大多数が規制を望んでいる。

(考察) 広島市において、今後、生活道路としての歩行者道を充実せねばならない事は勿論であるが、さらに、歩きたくなるような楽しい歩行者空間が必要と言える。アンケート調査結果では、広島市の都心部にある中央通り、で休日に行われる「歩行者天国」について、若い世代の者が多く「もっと楽しいものに」と答えているが、これは、感覚または「歩行者天国」の認識の相異によるものではあるまいか、都市はやはり若者に魅力あるものでなくてはならない、また若者に魅力ある都市は全ての人の魅力ある都市と言えるのではあるまいか。

広島市にとって、歩行者空間の整備は、都市の魅力を増やすための施策の一つになると思われる。

(2) 自転車利用に関して――利用の実態、利用しての問題点、また今後の需要など自転車に関する全般的な質問構成とした。

(結果概要)

“自転車保有台数”

484世帯。自転車保有率は、62.5%で全国平均(70%)を下回っている。(子供用自転車を除いたため差が大きいと考えられる。)

なし 37.5%	1台 34.5%	2台 19.6%	3台以上 5.8%
-------------	-------------	-------------	--------------

(世帯)